Ｖｏｌ．５

たまのまちづくり通信

新テーマ

～「新・人流港」へ！～

発　行：玉野市中心市街地活性化協議会事務局
〒706-8533 玉野市築港 1-1-3（玉野商工会議所内）
TEL：0863-33-5010　FAX：0863-31-5558
E-mail：info@tamanocci.jp
http://www.tamanocci.jp/ccam/

発行日：平成22年8月

玉野市中心市街地活性化協議会運営会議について

昨年5月下旬に第1回目の会議を行って以来、先月までに22回開催されました。毎回、アドバイザーからの助言をいただきながら熱い議論を展開しています。

直近の会議では、玉野市中心市街地活性化基本計画の策定に向けて、市から委託されたコンサルタント会社ランドブレイン（株）より下記のとおり4項目のポイントについて詳しい説明がありました。

①行政、事業者、市民等が共有できる明確な活性化方針の提示
②各事業者は5年以内に実施可能な事業可能な事業計画の作成
③達成可能な数値目標の設定
　特定の事業を行うことによって、歩行者通行量が増加する等の皆が実感できる目標の設定
④準工業地域における大規模集客施設の立地抑制

商店街活性化整備部会（福原弘義部会長）

地域コミュニティの核としてのタウン・マネジメント活動（井戸端コミュニティの復活）を行います。

4月に「事業主体を目指す築港街区整備事業推進準備会」を設立し、本年度玉野街づくり（株）より申請を行った経済産業省中心市街地活性化対策室の主管する、「まちづくり会社支援事業」※に採択されました。

7月下旬に開催された会議では、地元の現状及び課題の確認や支援方針、支援プログラムの確認を行いました。

そして、専門家からは下記の提案がありました。

●再度、全体の路線、テイスト、および商業についてどのような戦略でいくのかを議論しておくべき。
●次回の（9月）時には、事業の大きなシナリオ、枠組みをはっきりさせるべき。
●来年度以降のことも視野にいれて事業手法を検討すべき。

●地元より一度立体的にイメージされた、平面図と断面図のようなものをたたき台として提示していただきたい。

今後、新たな築港街区の実現に向けて事業構想をブラッシュアップして、地元関係者のコンセンサスを図りながら事業計画を再検討していく予定です。

※まちづくり会社支援事業とは

経済産業省中心市街地活性化室では、まちづくり会社のタウンマネジメント能力・経営能力向上に向けた取組や「不動産の所有と利用の分離」手法を活用した中心商店街区域における再生の取組などを支援するため、まちづくり会社等に対して各分野の専門家を派遣し、地域に適合した提案を行っていただける様です。

・支援内容

①まちづくり会社等に対して、商業、経営、地域資源、観光、不動産、金融、建築デザインなど各分野の専門家チームを派遣し、課題解決に向けた横断的なアドバイス・提案。

②支援に対する方向性を決定する基礎資料を作成するため、必要に応じて各種調査・分析（詳細調査）を行い、結果を当該まちづくり会社へ提供。

どてきり部会（吉本　誠部会長）

玉野の幻のカニ「どてきり」を復活！新しい特産品作りに奮闘中です。

「平成22年度玉野市ものづくりチャレンジ支援事業補助金制度」※に玉野商工会議所より応募し、6月に採択されました。

現在、業務委託先の(有)よし将へ水槽（写真：左）を設置して7月より「どてきり」の陸上養殖実験を始めております。玉野商工会議所は「どてきり」の陸上養殖技術の実用化及び事業化を支援し、この技術を域内企業間で共有することで中小製造業者に新分野進出の場を提供すると共に同カニを特産品として育てていき、この取り組みを域内及び全国に発信することで玉野市の知名度向上を実現したいと考えています。

※平成22年度玉野市ものづくりチャレンジ支援事業補助金制度とは、市内の中小企業や個人等が行う製造業，情報サービス業又は農水産物工場を活用する産業に係る新分野進出や新製品開発，新規創業のために必要とする経費に対して，予算の範囲内において補助金を交付することにより、本市工業の活性化の促進に寄与することを目的としています。

いしいひさいち部会（伊達元英部会長）

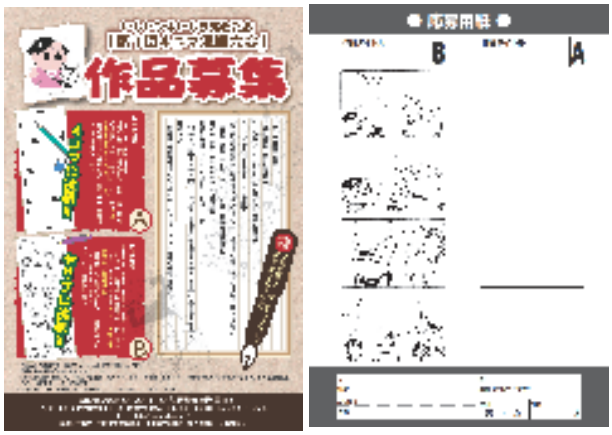
ののちゃんの絵を玉野全体へ。

瀬戸内国際芸術祭の開催に伴い宇野駅前の広場（シーサイドパーク）に設置されている宇野港シーサイドゲートのブースに「ふるさとたまの！　ののちゃんの街」をPRするために出店しています。

それに伴い築港商店街で今年4月より開催中の「いしいひさいち展覧会」も当初予定の9月末までから、瀬戸内国際芸術祭の会期に合わせて10月末の日曜日まで延長することになりました。

新企画「4コマ漫画大会」募集中！！

テーマを「玉野市」として、右のチラシの裏面より応募できます。また、玉野商工会議所 HP といしいひさいち部会 HP よりも応募用紙はダウンロードすることもできます。参加者全員に「ののちゃん」のグッズを展覧会場にて進呈いたします。皆様のご応募お待ちしております。詳しくは、いしいひさいち展覧会事務局まで。
TEL0863-33-5010



作品募集のポスターおよび応募用紙

アート部会

（斉藤章夫部会長）

アートを活かした美しいまちづくりを実現し、中心市街地における活性化と賑わい創出に資する活動を行います。

玉野市中心市街地における活性化と賑わい創出に資する活動を行うことを目的に設立され、今までに4回部会を開催して「アートなまちづくりを振興するための仕組みづくり」について、グループ討議方式にて議論を行っています。

なお、部会には玉野市内で活動しているアーティストや音楽家、アート活動推進者などアートに関心のある方が毎回20名前後集まっています。

討議のテーマ

1.　アートなまちづくりの意義

(1)　芸術文化振興が、市民にとってどんな意義（メリット）があるのか。

(2)　アートの振興によって、どんなまちづくりを生み出そうとするのか。

(3)　市民の知恵や工夫を生かすことができるのか。

(4)　その他

2.　アート振興のための仕組みづくり

(1)　旗振り役は誰がやるべきなのか。

(2)　どのような機能が求められるか。

(3)　どういった仕組みが必要となるか。

(4)　その他検討事項

先の討議テーマで議論を行った結果、2つのテーマをまとめて次のような意見が出されました。

- **アートなまちづくりをするために何をどのようにしたいのかを明確にする必要がある。**
- **直島への観光客に頼るのではなく、玉野市独自の施策を検討するべきではないのか。**
- **行政と一体となって推進すべき。**
- **シーサイドハウス（賑わい創出拠点）をアート活動（音楽を中心とした活動）の拠点にして、玉野をアートで活性化したいとの思いが強い。**

市の作成する中心市街地活性化基本計画に反映させるためにも、秋頃までに部会としての方向付けを行う予定です。

みなと部会（三宅定子部会長）

宇野港ウォーターフロントの
賑わいづくりを行います。

テーマと3つの柱
『世界のアートポートへ！』
1. アートポートの賑わいづくり
2. 外国人にもやさしい公共交通体系
3. 環境・エコのまち

□特徴を出すため、宇野港を**『世界のアートポートへ！』**と位置づけ、上記3つを柱に議論を行い、事業案の追加・修正を重ねております。

□次のような案が重点的に協議されました。

●**観光ツアーの整備**として、
◇**「海上からの造船所ツアー」**（産・観・美ツアーの新バージョン）**を実現化できないか。**

●**宇野港の港湾施設の整備**として、
◇「海の駅」の認定を目指してはどうか。
◇**宇野港第二突堤の親水性護岸整備など。**

●**「賑わい創出拠点」（旧フラミンゴ）の再活用**として、
◇**老朽化した公共施設の移転先としてはどうか。**

●**世界への発信**（宇野港・玉野のPR）として、
◇**ラッピング電車はできないか。**

□今後は、国の認定を目指す「市基本計画」に反映されるよう、下記事業案について、さらに掘り下げて議論を行っていきます。

宇野港ウォーターフロントの活性化方策（第２回目素案）

テーマ『世界のアートポートへ！』

みなと部会
第１回　平成22年5月24日(月)
第２回　平成22年6月21日(月)
第３回　平成22年7月20日(火)

A　アートポートの賑わいづくり

1◆直島・宇野アートゾーン（NIT-UNO art zone）のセンターポート化
2◆瀬戸内海国際クルーズ客船、防衛省自衛艦の常連寄港地化（ポートセールス強化）
※駅東創庫の芸術家と直島等への作品参加アーティストとの連携・交流
※観光ツアーの整備
（瀬戸内クルーズ、ミニクルーズ、ミニ市内観光コース、海上からの造船所ツアー定期化）
※世界からの来訪者の動向調査・検証
3◆宇野本港の港湾整備
※「海の駅」の認定、親水性護岸整備（第二突堤）、第三突堤の整備
4◆賑わい創出拠点地の再活用
5◆既存イベント事業（港フェスティバル・宇野港ゆめ市・玉野まつり等）の定着化と集客
6◆宇野港土地保有地におけるホテル・温浴施設・芸術家アトリエ・駐車場などの設置
7◆中高層住空間の整備（バリアフリーな街づくり）
8◆公共施設（医療機関、市民会館、文化センター、図書館など）の宇野港地区への集中
9◆世界への発信
※来訪外国人のロコミを活用しての宇野港・玉野ＰＲ
※電車・バス停での広告デザイン、ラッピング電車デザイナーの公募（芸術家の登竜門化）

B　外国人にもやさしい公共交通体系

1◆コミュニティーバス（シーバス）運行の再構築
①中活エリア内の環状線化
②ミニトランジットセンターでシーバスと路線バスの融合
③企業及び団体所有バス・タクシーの有効化とシーバスとの連携
④バス停アダプト運動と地域コミュニティーの再生
2◆JR宇野線（茶屋町駅～宇野駅）の３０分１本化
3◆JR宇野線（岡山駅～宇野駅）ラッピング電車の設置
4◆宇高航路フェリー存続と活性化の検討
5◆岡山空港（岡山駅経由）直行バスの導入
6◆観光タクシーの整備・海上タクシーの整備

C　環境・エコのまち

1◆環境マネジメントシステムの活用（省資源・省エネルギー・CO_2削減）
①グリーン化の推進（屋上・壁面緑化、公園緑地の整備）
②LED電灯の利用促進
③自然エネルギーの推進
④ゼロエミッションの推進（廃棄物の分別、再資源化、リサイクル）
⑤エコアイランドなおしま（環境センター）との連携
2◆地域との協働（マイバッグ・各家庭の省エネ推進・太陽光パネル設置など）
3◆安心・安全のための港の危機管理・防災対策の推進
4◆車族から公共交通（シーバス・JR・路線バス・フェリー等）への利用促進